

1, 学校の教育目標

人の話が最後まで聞ける子
 その後の、すべての「学ぶ」ことの基本になること
 「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子
 感謝の気持ち、善悪の判断
 汗をかいて楽しく遊べる子
 夢中になって遊ぶことが「からだ」を作る

2, 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ・新卒学生就職に関わるシステム作り
- ・幼稚園見学の積極的受け入れ及び、保育内容の公開
- ・防災計画の見直し
- ・障害児教育における体制作り

3, 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
就職に関わるシステム	A	計画的に募集ができ実績があった。
保育内容の公開	A	見学者が増え入園希望も増えた。
防災計画の見直し	B	特に進展はなかった。
障害児教育の体制	B	地域における内容の理解は高くなってきた。

4, 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	統合保育における実績を理解してもらおう策を考える必要がある。 来年度以降に向けて職員の教育に力を入れたい。 保護者の満足度の確認を細部にしていく必要がある。

5, 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
非常時における対応	不測に事態に向けたシステム作りが必要かと思われる。
教材の精査、検討	研修を含み、新しい物を取り入れる仕組みを作る。